

The EXEDY logo is displayed in large blue letters on the facade of a modern building. The 'X' is stylized with a red and white diagonal stripe. The building has a white and blue vertical striped pattern.

EXEDY

環境報告書

EXEDY Corporation Environmental Report

2016

The EXEDY logo is shown in the bottom left corner, with the Japanese company name '株式会社エクセディ' (EXEDY Corporation) written below it in white text with a blue outline.

EXEDY
株式会社エクセディ

[基本方針]

安全衛生・環境の確保は、企業活動の基盤であり社会的責任(CSR)です。
企業活動すべてに於いて人間尊重・地球にやさしい環境づくりをします。

[活動方針]

1. 安全なくして企業の存続はなし、従業員一人ひとりが、ゼロ災に向け、ルールを遵守します。
2. 職場はピカピカ・5S5T(※1)を維持改善し、職場のあらゆる危険・有害要因を排除する活動に努め、安全衛生管理規程をもとに活動し、2-2-2(※2)のスピードで継続的に改善をします。
3. 異常発生時は「止める、呼ぶ、待つ」を徹底します。
4. 生産・製品・サービスの分野において、環境管理規程をもとに活動し、環境問題の未然防止と継続的に改善をします。

※1 5S5T: 5S(整理、整頓、清掃、清潔、躰) 5定(定位、定量、定時、定姿、定質)の略
※2 2-2-2: 2時間、2日、2週間など2の単位で納期を守るようにしたルール

制定 2015年4月1日

代表取締役社長 久川秀仁



CONTENTS

安全衛生・環境方針……………1
会社概要……………2
環境マネジメント……………3～4
生産・製品における環境保全活動……………5～6
生産・製品におけるCO₂削減への取組み実施例……………7～8
社会との共生……………9～10

■対象期間

2015年度(2015年4月1日～2016年3月31日)を対象としていますが、この期間外であっても、必要と判断した事象も含めて報告しています。

■対象組織

国内事業所の本社・上野事業所・川越工場・広島工場を対象範囲としています。また、関係会社の活動状況についても一部紹介しています。

■編集方針

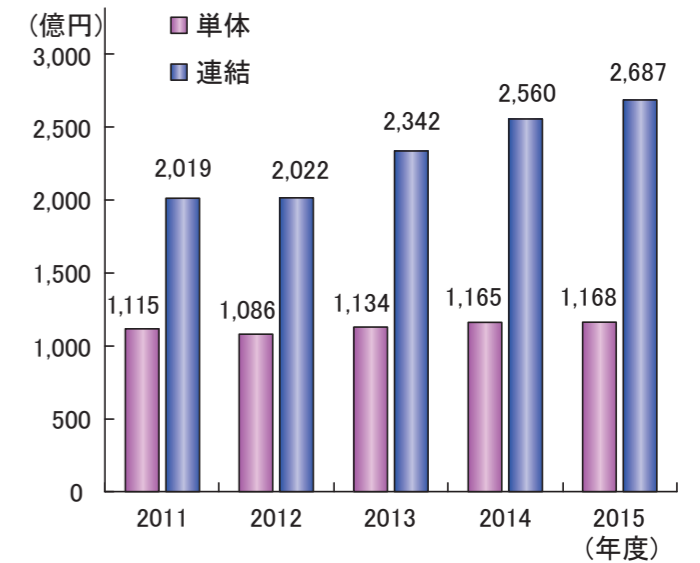
社会との共生では、社会貢献等の取り組み事例について紹介しています。
本報告書の作成に当たっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」を参考にしています。



表紙の写真はエクセディ新本館と、敷地内に咲く桜を写したものです。エクセディ本社では積極的に緑地化を進めています。
当社は企業活動の全ての面において、今後も地球にやさしい環境づくりに努めて参ります。

会社概要

商号 株式会社エクセディ
英文社名 EXEDY Corporation
設立 1950年(昭和25年)7月1日
資本金 8,284百万円
代表取締役社長 久川秀仁
グループ社員数 17,872名
売上高推移 (数値は2016年3月31日現在)



国内事業所 本社 (大阪府寝屋川市)
上野事業所 (三重県伊賀市)
川越工場 (埼玉県川越市)
広島工場 (広島県東広島市)

事業会社数
国内 北海道・岡山等 計13社
海外 欧米・アジア等 計29社
総数 42社(持分法適用会社含む)

主要製品

AT事業: 自動変速装置部品



MT事業: 手動変速装置部品



その他: 2輪事業、建設機械・産業車両用製品



環境マネジメント

■ 環境マネジメント体制

エクセディでは、全社環境担当責任者を委員長とするEGC委員会(EGC: EXEDY Global Clean)を中心にマネジメント体制を構築し、全社環境方針の策定や活動状況の管理を実施しています。



■ 環境会計 ～環境活動への費用・投資～

環境に対する取り組みを効果的に推進していくために、環境保全コストとその活動により得られた環境保全効果と経済効果を表しています。

2015年度 環境保全コスト

(単位: 百万円)

コスト項目	投資	費用	主な取り組み内容
公害防止	0	58	測定費用(水質、大気、廃棄物)
地球環境保全	286	2	太陽光発電パネル、照明LED化
資源循環	0	199	廃棄物処理・リサイクル処理
管理活動	0	14	環境月間イベント、ISO 定期審査
研究活動	0	91	低燃費化製品・再資源化材料の開発、軽量化
社会活動	0	7	事業所内の緑化、環境教育
合計	286	371	
総計		657	

2015年度実績と2016年度目標

項目	2015年度		2016年度
	目標	実績	目標
省エネ活動 省エネ法による 原単位*1: 前年度比1%レス	原単位: 57.4トン-CO ₂ /億円	原単位: 前年度比4.5%減 58.0→55.4トン-CO ₂ /億円	原単位: 54.8トン-CO ₂ /億円
3R*2の推進 「ゼロエミッション」	原単位: 2.38トン/億円	生産に伴う廃棄物 原単位: 前年度比18.1%増 2.40→2.81トン/億円*3	原単位: 2.78トン/億円
車両の燃費向上に 貢献する製品開発	低燃費製品品揃え開発	量産納入済み	低燃費製品品揃え開発
環境負荷物質の 削減・廃止および管理	PRTR法*4に基づく 管理 REACH規制対応 製品化学物質管理 体制強化	行政及び 部工会*5へ報告 緊急対応訓練の実施 梱包材のCLP規制対応完了 社内勉強会の実施	PRTR法に基づく 管理 製品環境法規の順守 製品化学物質管理体制 強化

環境保全に伴う経済効果と物量効果

< 経済効果 >

(単位: 百万円)

効果項目	2013年度	2014年度	2015年度
CO ₂ 排出量の低減	0	68	64
廃棄物処理費用の低減	3	4	0
有価物の売却	743	706	383
合計	746	778	447

< 物量効果 >

効果項目	2013年度	2014年度	2015年度
産業廃棄物排出量*6	52トン	65トン	73トン
CO ₂ 排出量	67.2千トン-CO ₂	67.6千トン-CO ₂	64.6千トン-CO ₂

*6 上野事業所新工場建設に伴う埋設物(3,712トン)は本件には含まれておりません

■ 環境監査 (ISO14001)

部門自主監査、定期内部監査、外部機関による審査の3段階による監査及び審査を実施しています。

ISO14001定期審査

2016年2月15日～19日の5日間にわたり、DQS JapanによるISO14001更新審査が行われました。今回の審査では「社会貢献活動」「ゼロディフェクト活動」について高く評価されました。今回指摘を受けた項目については、各部門へ水平展開し、さらなるシステムの改善を進めます。

<< 審査及び監査結果 >>

年度	年 度	重大な不適合	軽微な不適合	改善の機会
		2015	定期審査 (2016/2月)	0件
	内部環境監査 (2015/10月)	0件	5件	20件

*1 原単位: CO₂排出量/売上高

*2 3R: リデュース・リユース・リサイクル

*3 上野事業所新工場建設に伴う埋設物(3,712トン)は本件には含まれておりません

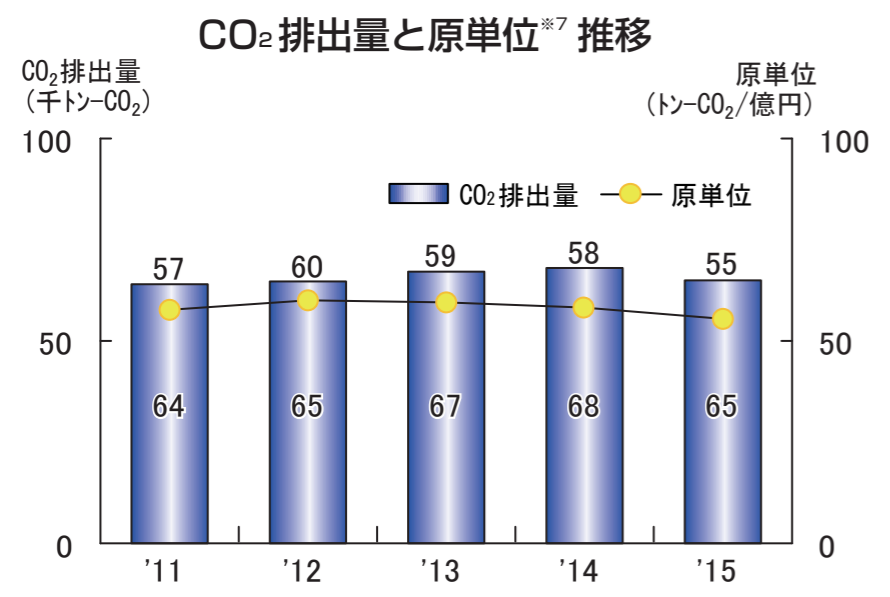
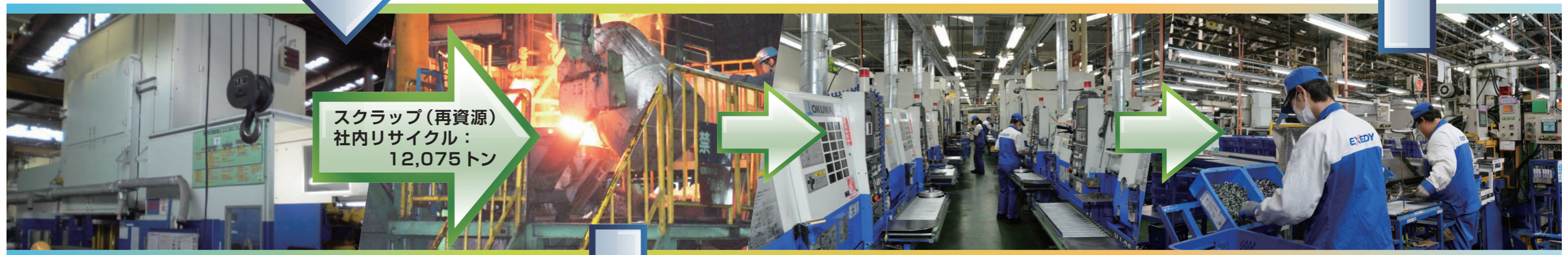
*4 PRTR法: 化学物質の排出・移動量届出制度

*5 部工会: 日本自動車部品工業会

生産・製品における環境保全活動

～最少エネルギーと最少材料で～

エネルギー	購入材料	水資源
<p>電力: 135,661 千 kWh</p> <p>灯油: 185 kℓ</p> <p>ガソリン: 104 kℓ</p> <p>軽油: 118 kℓ</p> <p>都市ガス: 96 千 m³</p> <p>LPG: 658 トン</p>	<p>鋼材: 116,544 トン</p> <p>鋳物: 13,178 トン</p> <p>鍛造: 15,402 トン</p> <p>摩擦材: 12.5 百万枚</p>	<p>上水: 126 千 m³</p> <p>工業用水: 170 千 m³</p>

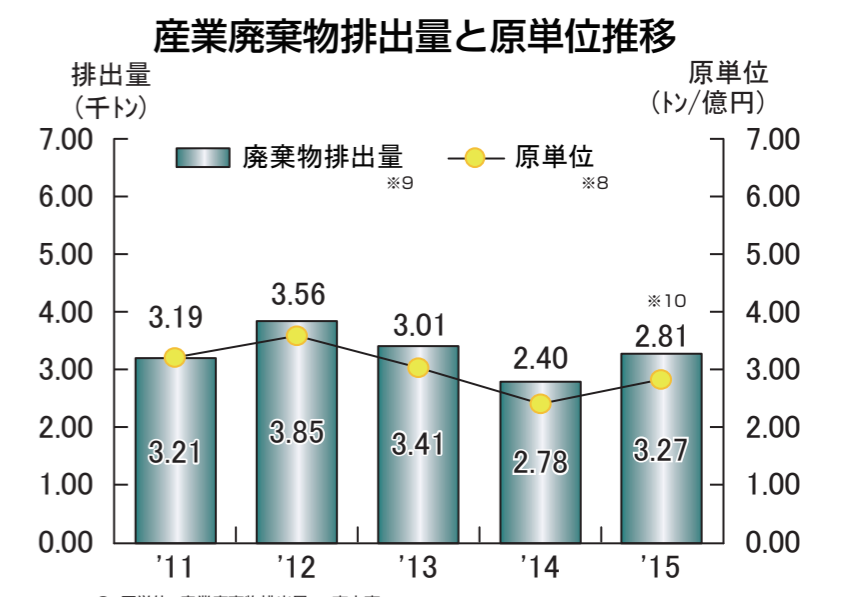


CO₂ 排出 64,649 トン

外部委託 再資源化物 35,301 トン

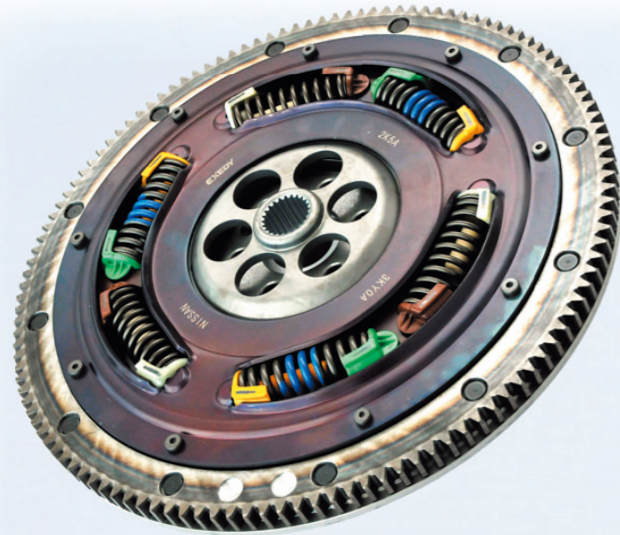
外部委託 埋め立て 3,285 トン

外部委託 中間処理 32 トン



※8 原単位: 産業廃棄物排出量 ÷ 売上高
 ※9 15年度よりリサイクル含む全ての産業廃棄物を計上
 ※10 上野事業所新工場建設に伴う埋設物(3,712トン)は本件には含まれておりません

生産・製品におけるCO₂削減への取組み 実施例(2015年度)



ハイブリッド車に採用された
超薄型フライホイールダンパー

地球環境にやさしい製品づくり

エクセディは地球にやさしい製品開発を目指し、小型化、軽量化、低燃費化に寄与する製品づくりに取り組んでいます。
また、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車などのエコカーにも数多くの製品が採用されており、地球環境にやさしい車社会の実現に貢献しています。

開発実験のCO₂削減・省エネ活動

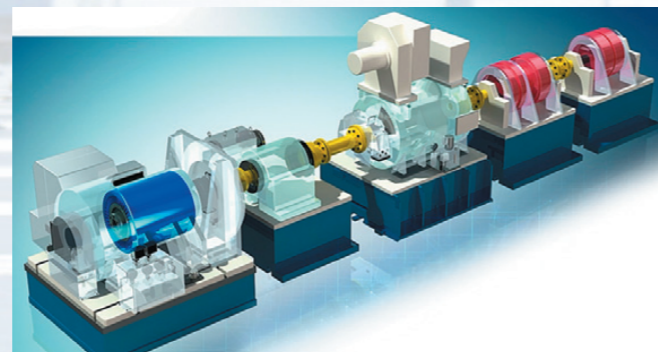
エクセディは社会貢献とお客様に喜ばれる製品を実現するため、2015年に実車をシミュレート出来るトランジェントダイナモ試験機を新たに導入し、CO₂削減や燃費向上に対応する製品開発に活用しています。

一方で既存設備の省エネ化も進めており、油圧動力源設備の電動化や動力回生機構を設けた省エネ設計を進め、必要能力は維持しつつ、消費電力量は1/10以下におさえる改善を実現しています。

また各試験室の照明もLED化を進め作業に適性な照度を確保しつつ、消費電力量を約20%削減しました。

今後も地球環境保護に適應する魅力ある製品を実現すると共に、環境に優しい開発実験を推し進めます。

(開発本部)



トランジェントダイナモ試験機



リニューアルした実験棟

LED化による電力量削減

従来タイプの蛍光灯から、LED照明へ変更しました。(MT棟、物流棟ほか5ヶ所)
これにより使用電力量を削減しました。
(本社 / 上野事業所)



屋根に太陽光発電
パネルを設置
(上野事業所)

ゼロディフェクトへの取組み

当社では全社を挙げて、ゼロディフェクト(不良ゼロ)活動に取り組んでおります。
製造部門ではモデルラインを設定し、不良ゼロに取り組むことで、材料、部品などの無駄をなくし、作業効率の改善などにつながっています。

また、活動を通じて社員自身の意識改革にもつながっており、職場環境を社員自身の手で改善するという風土を醸成しています。
(M&T 製造本部 / AT 製造本部)



現場での改善活動風景



LED化・リニューアルしたMT棟

太陽光発電パネル設置

本社インターナショナルスクエア(新寮)および上野事業所インターナショナルスクエアを新設し、それぞれ屋根部分へ太陽光発電パネルを設置しました。

(本社 / 上野事業所)

社会との共生

～歩調をあわせて環境・社会貢献活動を～

深刻化する地球環境において、生産活動に伴う環境負荷も高まり、従業員一人ひとりが環境問題に対する認識を一層高める必要があります。また良き企業市民であるために、地域社会への継続的貢献は不可欠です。エクセディグループでは各社の状況に則した活動を展開しています。

消防署との合同消防訓練

エクセディ（三重県）では、地域との連携を深めるため、災害時を想定した消防訓練を伊賀市中消防署と合同で実施しました。エクセディ上野事業所内で行われた、震度6弱の地震災害を想定した訓練では、社員・消防署員を合わせ120名が参加し、垂直はしご車を使った救助訓練、放水訓練などを行いました。（上野事業所）



大阪府 化学物質対策セミナーでの対策事例紹介

エクセディは大阪府の要請を受け、2016年3月に府域の事業者約450名を対象に、大阪府主催の化学物質対策セミナーでの講演を行いました。

セミナーでは、化学物質の排出抑制のためにエクセディが実際に行っている対策や、災害時に備えた対策等について紹介しました。



学生自動車レース活動への支援

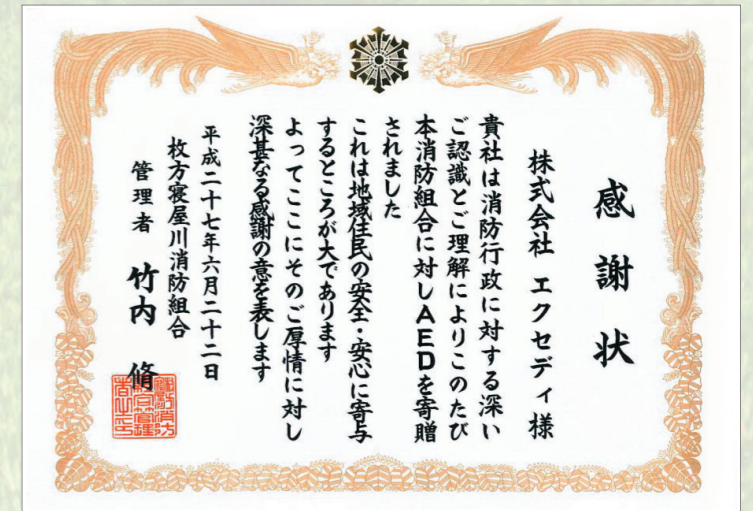
エクセディでは、自動車技術の向上および、未来の技術者を育成するため、学生フォーミュラ、ソーラーカーレースなどに支援を行っています。

学生の皆さんには自動車を製作する過程で、燃費性能の向上や製作コスト削減等に取り組み、環境にやさしい自動車づくりができる技術者に成長していただきたいと考えています。



AED寄贈で感謝状

エクセディは2015年6月に枚方寝屋川消防組合様より、AEDの寄贈に対し、感謝状をいただきました。今後も地域へ貢献できるよう、尽力してまいります。



地域貢献活動（美化活動、植樹の実施）



エクセディは、エクセディワーカーズコミュニティ(労働組合)とともに、労使一体となった環境活動に取り組んでいます。2015年度はクリーンキャンペーン(会社周辺の美化および植樹)、クリーンリバー寝屋川などの活動を実施しました。



株式会社エクセディ

〒572-8570 大阪府寝屋川市木田元宮1丁目1番1号

お問い合わせ先：管理本部 安全衛生環境部 環境・健康管理チーム

編集責任者 大迫 修

作成者 鎌田 由香 望月 伸二 前本 野歩 牛野 美穂

TEL.072-824-1009 FAX.072-822-4145

発行：2016年4月

本誌はエクセディホームページ上でもご覧いただけます。

<http://www.exedy.com>



このカタログ印刷は環境にやさしい
植物性大豆インキを使用しています。



森の町内会
環境を大切にするための
緑のまちづくりを推進します。
www.mori-no-cho-nakai.com

この印刷物に使用している用紙は、
森を元気にするための緑化と間伐材の
有効活用に役立ちます。

2016.4. 300 534 Printed in Japan